

～～第8715回～～

雲取山

～R1. 7. 6-7～

参加者4名のうち3名が浜北Pに集合して、私有車にて新東名を走った。途中、藤枝PAにて島田支部1名を拾った。あいにくの小雨模様であったが、現地では雨が止むことを期待して御殿場ICを降り、東富士五湖道路から大月ICを通り、国道139号線を奥多摩湖に向けて車を走らせた。目的地小袖乗越駐車場に着いた頃は、うれしいことに雨はやんでいた。そこは立派なトイレもある50台位駐車できる丹波山村村営の駐車場であった。準備体操後、早々に出発した。しばらくならかな歩き易い道を登って行った。3時間半ほど登ったところで、初めて急な登り坂になった。そこは、巻き道が二つもあり、登りはトイレのある七つ石小屋経由の巻き道として、帰りはもっと楽な一番下の巻き道を通ることにした。さらに登って行くと、開けた尾根沿いの道に出た。尾根に沿って30mくらいの幅で木がなく、開けた道が頂上まで続いていた。この光景は、雲取山の特徴とあって良いだろう。ようやく頂上の避難小屋が見えたころから、ポツポツと雨が降ってきた。登りのほとんどが雨に会わなかったことに感謝した。雲取山の頂上は、避難小屋を通り越し50m北に行った所にあった。「雲取山 東京都最高峰」と記載した高さ2mほどの石造りのりっぱな新しい標識が建っていた。周りはガスってほとんど見えない。頂上の休憩もそこそこに、雲取山荘に下って行った。その間は、登ってきた山道と打って変わって、急坂で大きな石がゴロゴロした歩きにくい道であった。ようやく山荘に着き、雨合羽を乾かし、部屋で落ち着くことができた。週末であったが、以外にも泊り客は少なく、17名ほどであった。翌朝も小雨が降っていたが、雲取山の頂上に行かないで巻き道に行くことにした。登山者の多い山とあって、山道の周りの草は丁寧に刈ってあった。歩き易い道の為か、予定より早く下山することができた。途中登ってくる登山者には都会の山の為か若者が多く、しかも軽装で走ってくる人が多かった。中高年の登山ブームは、終わりを告げたかもしれない。途中、「小菅の湯」で一風呂浴び昼食をとって浜北への帰途に着いた。

参加者：4名

天気：曇り時々雨

地図：三峰・雲取山・丹波

コースタイム：浜北P 530＝浜松浜北IC＝御殿場IC＝大月IC＝小袖乗越P 925…七つ石小屋 1255…雲取山山頂 1540…雲取山荘(泊) 1600-630…山荘巻き道分岐 715…七つ石小屋下 900…小袖乗越P 1110＝小菅の湯＝大月IC＝御殿場IC＝浜松浜北IC＝浜北P

記録：浜松支部 M. K